



羅漢の里もみじまつり

11月9日（日）をメイン開催日として、11月8日（土）～16日（日）に「2025 羅漢の里もみじまつり」が開催されました。今年度も生徒会執行部がかがしを制作し、「かがしコンテスト」に出展しました。

今年は大阪万博が開催されたこともあり、万博キャラクターのミヤクミヤクをはじめ、今年の世相をあらわしたものを中心には、様々なアイデア作品が出品されていました。



最優秀賞の鍋島さん

相高生フォーラム

第47回

11月12日（水）、第47回相生フォーラムが開催されました。相高生フォーラムは、開校以来続く、歴史ある行事です。基準弁論者1名と1・2年の代表者各3名、計7名が人権に関するスピーチを行う人権に関する弁論大会です。今年も自分自身の身近な出来事から、世界のことまで、社会で問題になっていること等幅広く取り上げられ、生徒自身も真剣に考えさせられる内容でした。結果は、最優秀賞が2年3組鍋島巧光さん「SOSに『気づく』ことの重要性」、

また、フォーラム審査の待ち時間に、第43回西播磨高校生英語スピーチコンテストに出場した、2年3組和泉桃愛さん、2年4組橋爪郁馬さんの英語スピーチも披露してもらいました。

相高生フォーラムも英語スピーキングテストも、それぞれが力を十分に發揮し、発表者の皆さんは、充実感に満ちており、歴史ある行事が引き継がれることを感じさせる行事となりました。

5組上嶋さん「支えられて生きるということ」に決まりました。今年度も、入賞できなかつた生徒のスピーチも含めて、自分自身ならどうするのかを考えさせられる素晴らしい「相高生フォーラム」でした。

また、グループに分かれての合計2時間にわたる交流会では、留学生とお互いの文化について発表・質疑応答をし、その後は自由にディスカッションしました。

いつも聞いている英語よりもスピードの速いリスニングに苦戦しながらも、アメリカ、中国、インドネシアなど、様々な国出身の留学生の方々と楽しく会話をしている様子は、引率者としてもとても頼もしく、そして嬉しく感じられました。あつという間の2時間でした。

最後に、このような機会を設けていただいた神戸大学の関係者および留学生の皆様に心より感謝申し上げます。この経験によって、参加した生徒が少しでも英語の魅力・楽しさに気づき、今後の進路や学校生活の励みにして貰うことを願っています。

神戸大学留学生と交流会

12月9日（火）、神戸大学にて留学生の方々との英語での交流会を行い、今

年

度は26名もの意欲的な生徒が参加しました。

参加しました。

グループに分か

れての合計2時

間にわたる交

流会を行

い、今

の英語での交

流会を行

い、今